

政策シート

(政策名) 一人ひとりが自己実現できる男女共同参画の推進
(予算費目名) UD・男女共同参画費

(総合計画体系)

「分野」	地方自治・都市経営
30年後の姿	協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

◇政策の概要

持続可能な経済成長を達成しながら、社会の活力を維持していくためには、すべての人が性別に関わりなく個人として尊重され、自らの意思によりその個性と能力を十分に発揮することが不可欠であり、とりわけ女性が活躍できる環境づくりが急務である。このようなことから、これらを阻害する根底にある「固定的性別役割分担意識」の解消に向け、市民や市民団体等と連携した取組を一層推進するほか、企業には、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進の重要性を認識し、自主的な取組を行うための環境づくりを支援する。

◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑤ジェンダー								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	42,960	40,557	40,466	38,803	38,373
決算	40,057	38,788	37,806	36,639	
人件費(A)	26,600	27,860	22,400	29,080	27,300
報酬(B)	128	200	291	227	165
年間経費(予算又は決算+A+B)	66,785	66,848	60,497	65,946	65,838

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
男女共同参画社会実現に向けた市の取り組みに対する満足度	%	25	目標	15	15	15	15	15
			実績	14.9	14.4	8.1	8.9	
活動拠点施設で開催された講座の満足度	%	95	目標	80	85	90	95	95
			実績	96	95.8	94.6	93	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

持続可能な経済成長を達成しながら、社会の活力を維持していくためには、すべての人が性別に関わりなく個人として尊重され、自らの意思によりその個性と能力を十分に発揮することが不可欠であり、とりわけ女性が活躍できる環境づくりが急務である。そこで、それらを阻害する根底にある「固定的性別役割分担意識」の解消に向け、市民や市民団体等と連携した取組を一層推進する。また、企業には、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進の重要性を認識し、自主的な取組を行うための環境づくりを支援する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<p>・平成30年度の男女共同参画社会実現に向けた市の取り組みに対する満足度は、前年度8.1%から0.8ポイント上昇の8.9%となったが、目標数値15%は達成できなかった。</p> <p>・平成29年度開催の「NAOTORA女性サミット」の大会宣言を受け、新たに経営者・管理職を対象としたセミナー等を開催し、地域におけるワーク・ライフ・バランスの一層の普及啓発を図ったが、集客に課題を残した。</p> <p>・男女共同参画の拠点施設「あいホール」で実施されている各種講座の満足度は高い数値を示しているが、より充実した講座等が開催できるよう、プログラムの多様化等を図る検討が必要。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	男女共同参画推進事業					15,147	3,082	1.3			1.0	165
2	ワーク・ライフ・バランス推進事業	○	○	○		15,091	5,991	1.3				
3	DV防止支援事業					7,769	4,969	0.4				
4	活動拠点施設事業		○	○		27,831	24,331	0.5				
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						65,838	38,373	3.5			1.0	165

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 男女共同参画推進事業

◇事業目的・事業対象

固定的な性別役割分担意識を解消し、男女が互いに人権を尊重するとともに、社会の対等な構成員として施策・方針などの意思決定の場に等しく参画できるよう、意識啓発や人材の育成などの事業を展開する。
 また、男女共同参画審議会を開催し、男女共同参画に係る諸施策の調査審議を行い、男女共同参画社会の実現に向けた取組の推進を図る。

◇事業の概要

- ・市民が開催する学習会へ男女共同参画アドバイザーを派遣する「こらぼ講座」や、市民団体からの企画提案を委託にて実施する「男女共同参画提案事業」など、市民に向けた意識啓発事業を実施する。
- ・男女共同参画の意識を醸成するため、市民向け情報誌「ハーモニー」を発行する。
- ・子供たちの教育に携わる教職員を対象に、意識啓発のための研修会を実施する。
- ・男女共同参画週間中(6/23～6/29)に、本庁舎1階ロビーで男女共同参画のパネル展示による広報、啓発活動を行う。
- ・男女共同参画審議会を開催し、男女共同参画の推進に関する重要事項を審議する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S63	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市男女共同参画推進条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	4,951	7,485	5,257	3,413	3,082
	決算	3,908	6,480	3,472	2,340	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	3,908	6,480	3,472	2,340	3,082
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)		128	200	291	227	165
人件費 (千円)		14,700	15,960	10,500	13,660	11,900
人工	正規	1.7	1.8	1.1	1.5	1.3
	再任用(h31)				0.1	
	再任用(h26)					
	非常勤	1.0	1.2	1.0	1.0	1.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー	○ 5.c	⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

男女共同参画を推進する学習の機会は、ジェンダー平等への意識啓発につながるとともに、女性の能力が発揮される社会の実現が期待される。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
こらぼ講座年間実施数(回)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	40	40	40	40	40	45	50
実績値	51	38	31	32			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
男女共同参画社会実現に向けた市の取組みに対する満足度(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	15	15	15	15	15	20	25
実績値	14.9	14.4	8.1	8.9			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
-							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・市民が開催する学習会へ男女共同参画アドバイザーを派遣する「こらぼ講座」や、市民団体からの企画提案を委託にて実施する「男女共同参画提案事業」など、市民に向けた意識啓発事業を実施する。
- ・男女共同参画の意識を醸成するため、市民向け情報誌「ハーモニー」を発行する。
- ・職員(男女共同参画推進リーダー、新任監督者など)や子供たちの教育に携わる教職員、保育士に対し、意識啓発を図るための研修会を実施する。
- ・国の男女共同参画週間に呼応して、本庁舎1階ロビーで啓発パネル展示を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・こらぼ講座(32回/計画値40回、3,231人/計画値4,500人)の実施や、市民団体からの企画提案を委託にて実施する「男女共同参画提案事業」を3事業採択するなど、市民に向けた意識啓発にかかる事業を実施した。
- ・平成30年度市民アンケート調査における「市の取り組みの満足度評価(男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組み)」について、「満足している」の割合は、前年と比較し0.8ポイント上昇した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

男女共同参画の意識啓発につながる情報誌「ハーモニー」の編集や、小・中学校を対象とした男女共同参画推進学習を市民団体に引き続き委託するなど、市民団体との連携・協働により、市民目線による意識啓発につなげることができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業実施の根拠となる要綱を見直すなど、市民がより利用しやすい講座となるための整理を行う。

補助シート (事業名) 男女共同参画推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
124	・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。	・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所表彰制度を創設、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。		

事業シート (事業名) ワーク・ライフ・バランス推進事業

◇事業目的・事業対象

長時間労働などの男性中心型労働慣行の見直しは、あらゆる分野における女性の活躍推進につながっていくことから、「仕事」と家事、地域活動などの「仕事以外の生活」とのバランス(ワーク・ライフ・バランス)を考えることが重要である。一人ひとりが、ワーク・ライフ・バランスを正しく理解し、職場や家庭、地域社会等における責任を果たすとともに、多様な活動に従事できるよう、地域におけるワーク・ライフ・バランスの一元的な推進を図る。

◇事業の概要

・ワーク・ライフ・バランス推進の重要性を理解するためのセミナーや、女性管理職育成のための講座等を実施する。
 ・ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進に取り組む事業所を認証する事業を実施するとともに、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。
 ・20代～30代の働く女性を対象に、継続就労やキャリアアップを支援するための講座を開催する。
 【H27-H28重点戦略項目No.123】【H29-H30重点戦略項目No.124】【R1-R4重点戦略項目No.18・71】
 ・男女がともに働きやすい職場環境づくりを支援するため、企業にワーク・ライフ・バランス等アドバイザーを派遣する。
 ・ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に取り組む事業所を「ワーク・ライフ・バランス等推進事業所」として認証する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	-	一般会計	自治事務(その他)	女性活躍推進法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	4,036	3,440	5,209	6,554	5,991
	決算	2,431	3,021	4,573	5,633	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	2,431	3,021	4,573	5,633	5,991
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		6,300	6,300	7,000	10,860	9,100
人工	正規	0.9	0.9	1.0	1.5	1.3
	再任用(h31)				0.1	
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー	○ 5.c	⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

男性中心型労働慣行の見直しは、ジェンダー平等への意識啓発につながるとともに、女性の能力が発揮される社会の実現が期待される。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
はままつ働く女性応援ネットワークの参加者数(人)					-		
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	25	25	25	-	-	-	-
実績値	23	20	20	-	-	-	-
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
ワーク・ライフ・バランス等アドバイザー派遣事業所数(社)						124	18、71
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	5	5	5	7	7	8	10
実績値	3	3	3	5			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業所数(社/年)					I -2(2)ア		
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	- (準備)	10	10	30	30	30	30
実績値	- (準備)	30	39	14			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・主に20代～30代の働く女性を対象に、キャリアアップ及び就労継続を支援するための講座(全5回)及び交流会を開催する。
 - ・男女がともに働きやすい職場環境づくりを支援するため、企業にワーク・ライフ・バランスアドバイザーを派遣する。
 - ・ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍推進に取り組んでいる市内事業所を認証及び表彰するとともに、その取組を紹介することで事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。
- 【重点戦略項目 No124】
- ・男女がともに働きやすい職場環境づくりを支援するため、企業にワーク・ライフ・バランスアドバイザーを派遣する。
 - ・ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に取り組む事業所を「ワーク・ライフ・バランス等推進事業所」として認証する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・市内在住又は在勤の20代～30代の就労中の女性を対象に、キャリアアップや就労継続を目的としたセミナー「浜松女子Happy Work Labo(計5回:延べ109人参加)」を開催した。
- ・ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい職場環境づくりを支援するため、市内5事業所にアドバイザー(社会保険労務士)を派遣したほか、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に取り組んでいる市内14事業所をワーク・ライフ・バランス等推進事業所として新たに認証した。
- ・市内の事業所を対象に、企業戦略としてのワーク・ライフ・バランスの重要性を経営者に示すとともに、推進のために必要な管理職育成を目的とした「人生と仕事を豊かにする ミライの働き方プロジェクト(講演会、講座3回、事例発表会:延べ80人参加)」を開催した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・各種講座については、参加者の満足度が高かったことから一定の成果があったといえる。
- ・ワーク・ライフ・バランス等認証事業については、24事業所の応募の中から、14事業所を新たに認証した。
- ・産業部との連携により、認証事業所へのインセンティブの拡充を図った。
- ・アドバイザー派遣事業については、派遣メニューの新設などにより、企業がワーク・ライフ・バランスへの取組を段階的に進めていけるよう事業内容の見直しを図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成30年度の新規事業として、ロールモデルの育成及び経営者のマインド変革のプログラムを含めた「ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクト(ミライの働き方プロジェクト)」を実施したが、プロポーザルによる事業提案により、引き続き継続して実施していく。

補助シート (事業名) ワーク・ライフ・バランス推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
18 71	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証制度により、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。 			

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
123	<ul style="list-style-type: none"> 将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした「はままつ女性カレッジ」を開催する。 前年度のカレッジ修了生には、情報誌の編集等を通じ、男女共同参画の推進に協力してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした「はままつ女性カレッジ」を開催する。 		
124			<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証制度により、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。 	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証制度により、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。

事業シート (事業名) DV防止支援事業

◇事業目的・事業対象

男女が互いに個人としての人権を尊重し、配偶者やパートナーなど親密な関係で起こる暴力の防止に向けた啓発や被害者の相談支援体制の整備に向けた事業を展開する。

◇事業の概要

①DV防止啓発の推進

- ・DV被害の潜在化を防ぐため、DV防止啓発リーフレットを活用した広報・啓発活動を行う。
- ・DV相談専用ダイヤルをPRするため、相談窓口カード配架による周知を図る。

②DV相談支援センターにおいて、DV専用ダイヤルによる初期相談の実施

- ・DV被害の潜在化、重篤化を防ぐため、相談先を明確にするとともに、相談状況に応じて次のステップにつなげる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	-	一般会計	自治事務(その他)	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	10,365	6,024	5,893	4,632	4,969
	決算	10,230	5,799	5,654	4,463	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	10,230	5,799	5,654	4,463	4,969
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		2,100	2,100	1,400	1,760	2,800
人工	正規	0.3	0.3	0.2	0.2	0.4
	再任用(h31)				0.1	
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー	○ 5.2	⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

女性に対するいかなる暴力も人権侵害行為であることから、DV防止のための取組は、ジェンダー平等への意識啓発につながるるとともに、女性の能力が発揮される社会の大前提である。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
DV相談専用ダイヤルの相談件数(件)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	400	450	450	450	450	450	450
実績値	639	309	328	267			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・DV被害の潜在化を防ぐため、DV防止啓発リーフレットを活用した広報・啓発活動を行う。
- ・DV相談専用ダイヤルをPRするため、相談窓口カード配架による周知を図る。
- ・高校生を対象としたデートDV防止を啓発するための講座を開催する。
- ・DV相談支援センターにおいて、専用ダイヤルによるDV初期相談を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・DV防止啓発事業として、女性に対する暴力をなくす運動期間中に、市役所本館1階ロビーでパネル展示(11/12~11/23)を行うとともに、遠鉄バス等の電光掲示板による情報発信を行った。
- ・浜松東高3年生を対象としたデートDV防止の出前講座を開催し、154人が受講した。
- ・男女間の暴力の潜在化を防ぐため、DV相談支援センターにおいて、電話相談を業務委託にて実施。(相談件数:267件)
- ・DV被害者が、人目を気にせず安心して相談窓口の情報を得られるよう、DV相談窓口を周知するカードを市役所本館や各区区役所などの女子トイレに設置した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・DV相談専用ダイヤル設置の目的が、相談の第一歩として相談者から相談しやすい状況を整えるためのものであることから、DVの初期相談的なものが多くの件数を占める点では、所期の目的を果たしていると考え。
- ・DV被害者の潜在化を防ぐため、相談窓口案内カードを女子トイレ内に配置した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

新たに高校生を対象としたDV防止のための啓発カードを作成し、配付する。

事業シート (事業名) 活動拠点施設事業

◇事業目的・事業対象

女性のエンパワーメントを支援する活動及び男女共同参画を推進する市民活動団体等の活動拠点としての機能を充実することにより、男女共同参画の推進を図る。

◇事業の概要

男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画を推進する活動拠点として、各種講座、相談業務、情報発信、団体育成を委託して行う。

【H29-H30重点戦略項目 No123】

・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目指し、「はままつ女性カレッジ」を委託事業にて開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市男女共同参画推進条例、浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター条例	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	23,608	23,608	24,107	24,204	24,331
	決算	23,488	23,488	24,107	24,203	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	23,488	23,488	24,107	24,203	24,331
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		3,500	3,500	3,500	2,800	3,500
人工	正規	0.5	0.5	0.5	0.4	0.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー	○ 5.c	⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

男女共同参画を推進する学習の機会は、ジェンダー平等への意識啓発につながるとともに、女性の能力が発揮される社会の実現が期待される。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
啓発事業参加者数(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値	1,300	1800	2000	2200	2800	2800	3000	
実績値	3464	2419	3274	2836				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
相談件数(件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値	1,300	1300	1500	1500	1900	1900	1900	
実績値	1508	1699	1679	1933				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
講座の満足度(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値	80	85	90	95	95	95	95	
実績値	96	95.8	94.6	93				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
はままつ女性カレッジの総参加者累計(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	123	
目標値	12	24	30	48	60	85	100	
実績値	11	18	33	46				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画を推進する活動拠点において、各種講座、相談業務、情報発信、団体育成事業を委託にて行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

○あいホールにおける、男女共同参画推進事業の実施

男女共同参画推進のための活動拠点施設として、男女共同参画の意識啓発や人材育成に成果をあげた。

・啓発事業参加者 2,836人

・参加者満足度 93.0% ※講座終了後アンケートより

○相談事業

相談件数 1,933件

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・啓発事業の参加者の増加は、事業運営とそれに伴う施設活用等が軌道に乗っていることによるものと考えられる。
- ・効果的な委託事業となるよう、前年度の講座等のアンケート結果を検証し、市民ニーズを反映させている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

男女共同参画の意識醸成に向けた各種啓発事業や、女性の人材育成のための講座等を開催していく。

補助シート (事業名) 活動拠点施設事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
123			・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした「はままつ女性カレッジ」を委託事業により開催する。	・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした「はままつ女性カレッジ」を委託事業により開催する。